

# 夢、私たちに。 わたしのひとこと



## スキー王国を盛り上げる

大出 降旗 陽子

全国屈指のスキーリゾート地の白馬村は、バブル崩壊後スキー人口は減り続けています。こんな時だからこそ官民一体となって踏ん張る時だと思います。先頃、白馬村スキークラブの総会で新役員が選任されました。「低迷が続く観光事業の改善とともに、スキー王国としての発展に力を注ぎたい。」の会長の言葉は頼もしい限りです。是非スキークラブと村、中学校、白馬高校との横の繋がりを密にし、子ども達が進んで地元の高校に進み、この素晴らしい環境を生かして頑張る子ども達を育てることが、白馬村の課題だと思います。ただ、財政難による緊縮予算で学校でのスキー指導がなくなったという話を聞き、さらに後退する白馬が頭をよぎるのですが！毎年、選手育成会費が徴収されていますが、この不況の中、賛同していただけない人も多く伺います。将来の白馬村を背負って立つ子ども達ですので、後進の選手を育成する応援体制が必要ではないでしょうか。先輩方が託した希望と夢を受け継ぎ、スキー王国を盛り上げることが、活気に満ちた白馬を取り戻すきっかけになるのでしょうか。



## 人との暖かい絆

新田 山岸千恵美

白馬で生まれ育って40年。その間、白馬村は変化し続けてきました。私には小中学生の子供がいますが、2年ほど前、小学校でオリンピックについて調べる授業がありました。当時の関係者の方に子供が質問用紙を届けると、その方は土間に膝をつき、子供の目線で話を聞き、「ヨシ！おじさんに任せろ」。その姿を見て胸が熱くなりました。私は子供にこのように接しているか？今でも自問自答の毎日を送っています。今、自分がこうして元気に日常生活を送れているのは、子供の頃から今現在、地域の人達の暖かさがあったからではないか。常に感謝の気持ちを忘れず、これから私達が子供を育てて行く中で人と人との繋がり、絆を大切にしていきたい！そして、これを、これからの子供達に教えて行きたい！きっと一生涯、私はあの光景を忘れることができない程、良い経験と勉強をしたに違いない！



## 観光と福祉

深空 小池恵理子

白馬村は現在、高齢化率22.4%と長野県の平均より若干下回っているようですが、高齢化は確実に進み、要介護者も増加の一途です。白馬村もそろそろ福祉的目線で観光を考えていくべきだと思います。村内のバリアフリー化は当然のこと、ユニバーサルデザインの村づくりを推進していきたいものです。ユニバーサルデザインとは「すべての人のためのデザイン」を意味します。年齢や障がいの有無、また国籍などにかかわらず、分かりやすく使いやすく、多くの人が利用できるようにデザインすることをいいます。高齢者や身障者も行きやすく閲覧しやすい図書館。車イス、ベビーカーでも通行しやすい段差のない歩道など、住民が住みよい村である事が、ひいては観光地としての集客にもつながる気がします。観光地は元々地域性を資源としますから、ユニバーサルデザインの観光地の形は観光地の数だけあると思います。福祉の視点からも観光を考え、質の高いホスピタリティを提供していけたら、もっと広い意味で白馬村は開けて行くのではないのでしょうか。

### 編集後記

新緑が日ごとに濃くなる季節、議会報の編集の最中、村長選挙が行われました。

議会報編集副委員長であった渡辺俊夫議員が、立候補するため議員を辞職されました。

私にとっては1年余りの議員仲間でしたが、先輩議員としてご指導いただきました。補選は行われず、残り任期2年10か月、11名の議員で活動することになり、緊張と不安で身の引き締まる思いです。それぞれの評価は異なるでしょうが、「渡辺議員が抜けて議会は何をしているんだ！」なんて声が住民の皆さまから出ないよう、改めて当選当初の気持ちを思い起こし、がんばろう!!と再決意しました。

大田 伸子 記

### 議会報調査編集特別委員会

議長	下川 正剛
委員長	田中 榮一
副委員長	太田 伸子
委員	横田 孝穂
委員	太田 修
委員	小林 英雄
委員	太谷 正治

白馬議会だより 93号  
平成22年7月30日発行

発行 長野県白馬村議会  
編集 議会報調査編集特別委員会  
印刷 ㈱北辰印刷

〒399-9393 長野県北安曇郡白馬村  
☎0261-72-5000 FAX0261-72-7001  
http://gyosei.vill.hakuba.nagano.jp/gikai/ E-mail gikai@vill.hakuba.nagano.jp